

令和3年 10 月8日

県サイクルツーリズム推進協議会加盟団体各位

県観光・文化スポーツ部観光課長

第2回鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会の書面開催について(依頼)

本県の観光振興につきましては、かねてから格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、第2回県サイクルツーリズム推進協議会につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、下記事項を書面表決にて議決することといたします。

つきましては、別紙の協議事項等をご確認いただき、「回答書」を令和3年 10 月15 日(金)までにメールにて回答いただきますようお願いいたします。

ご提出いただいた回答書につきましては、10 月 22 日(金)までに集計し、改めて結果をお知らせします。

なお、本協議会の運営等につきましては、(株)ANA総合研究所に委託しております。

記

協議事項 県サイクルツーリズムロゴマーク二次審査結果について(報告)

報告事項 地域部会(熊毛、北薩摩)の進捗について(報告)

【問合せ先】

県観光・文化スポーツ部観光課観光地づくり係 担当:鹿島

TEL:099-286-3005

Mail:kdukuri@pref.kagoshima.lg.jp

【回答書提出先(受託事業者)】

株式会社ANA総合研究所「元気な日本」創生事業部

地域創生チーム 担当:丸山

TEL:050-3755-0980

Mail:soukenjimu@ana-ri.co.jp

県サイクルツーリズムロゴマークデザイン2次審査結果について

資料1

協議会会員による2次審査の投票結果は、以下の通りとなりました。

投票の結果により第1位の作品を最優秀作品として決定し、ロゴのデザインデータを制作し、今後のサイクルツーリズム推進に広く活用していくこととします。

なお、デザイン原案は黒（B100）1色であるが、作者の意図もカラーは一定の色彩をあえて持たせないことで、地域ごとに色による展開の幅を持たせる狙いがあります。色使い等のロゴのバリエーションについては今後協議会でも検討いたします。

本事項についての承諾可否を「別紙」回答書にて、回答願います。

投票結果	得票数	得票率
1位：A案	61	67%
2位：C案	14	15%
3位：B案	3	3%
無投票	13	14%
合計	91	投票率86%

県サイクルツーリズムロゴマークデザイン2次審査 選考案

A 案



応募者：鹿児島市在住 20代男性（公務員）

<応募者の説明文>

KAGOSHIMAに隠れていた「GO」をキーワードに「鹿児島」と「サイクリング」を結び、自転車の旅へ誘い出してくれるロゴマークです。同時に、「行こう」、「進もう」、「前へ」、「未来へ」など、可能性や期待も感じさせる、ポジティブなアイコンになっています。

B 案



<応募者の説明文>

近年人気のサイクルツーリズムがとても適している自然豊かな鹿児島県だからこそ「自転車で鹿児島県を元気に」という地方創生に繋がるようなデザインを目指し、「スポーツ&観光」のサイクルツーリズムとして幅広い層に受け入れられやすい柔らかさで見やすさで、「自転車と鹿児島県」をモチーフにロゴを作成いたしました。

C 案



<応募者の説明文>

南北600kmに広がる鹿児島県の魅力を表現するために南は与論島から北は獅子島までを背景に図示しました。ローマ字の「KA」で自転車の車体を「GO」で車輪を表現することで、鹿児島県のサイクルツーリズムであることを強調しました。桜島から吹き上がる噴煙のようにKAの文字を表現し、車輪のGOは英語の“GO”を連想させることで、「鹿児島のサイクルツーリズムに行こう!」というテーマと県全体での運動の盛り上がり表現しました。

[参考] ロゴ作成について

※鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会第1回設立総会資料より

<目的>

鹿児島県内一体となって、サイクルツーリズムを推進・取り組むための共通ロゴを作成し、案内看板や路面標示、のぼり旗、ホームページに掲載し、広く浸透を図る。

● ロゴ制定までのスケジュール ※現時点での予定

[7月中旬～8月31日]
鹿児島県ホームページにて、公募

[9月1日～9月15日] 1次審査
協議会事務局で応募案件の基準確認、絞り込み作業

[9月24日～10月1日] 2次審査
会員投票による審査

[10月22日] 最終決定
第2回協議会にて最終決定

[10月下旬～]
制定したロゴのデータ作成・配布、使用の運用開始

[県ホームページの最新情報に掲載し、公募]



募集要項（概略）

- ・募集期間：7月19日～8月31日
- ・応募資格：県内在住・在勤・在学、出身の方（プロ、アマ、年齢不問）
- ・応募要件：鹿児島県を表現し、サイクリングの楽しさ、未来を感じさせるもの。
- ・応募方法：ホームページから要項をダウンロードして、Eメールまたは郵送にてデータ、またはA4用紙データを送信。データの場合は所定のサイズや形式の規格
- ・注意事項：第三者の権利を侵害しないものに限る、万一第三者との権利侵害等の問題発生時は当事者間で解決し、県や協議会は関与しない等の条件付記。採択後に、必要に応じてデザインの修正を施すことがある等。

[参考] 国内各地で制定されたサイクルツーリズム・ロゴマーク例



国土交通省
ナショナルサイクルルート

- ・しまなみ (愛媛・広島)
- ・ビワイチ (滋賀)
- ・霞ヶ浦 (茨城)
- ・トカプチ400 (北海道)
- ・富山湾岸 (富山)
- ・太平洋岸 (千葉～和歌山)

NATIONAL
CYCLE ROUTE




(北海道)



BIWAICHI
ビワイチ

(滋賀)



JAPAN ALPS
CYCLING

(長野)



千葉県サイクルツーリズム
CHIBA
CYCLE TOURISM
since 2011

(千葉)



Cycling OITA

(大分)



太平洋岸自転車道
Pacific Cycling Road

(太平洋岸自転車道 千葉～和歌山)



サイクルレスト
よってね

(宮崎県日南海岸)

- <各地ロゴマークにみる特徴>
- 自転車をデザインしたもの + その土地を特徴的に示したデザインが多い
 - ロゴマークは看板 (道路標識) やのぼり旗に使用されることが多いため、視認性の高いものが多い

報告事項 地域部会（熊毛、北薩摩）の進捗について

第1回設立総会にて決議の通り、本年度は熊毛地区と北薩摩地区において地域部会を設置し、モデルルートの作成とサイクリングマップの作成を実施、第3回総会（1月下旬予定）にて最終報告をする計画で事業進行中です。

項目	熊毛地域部会 進捗 (種子島、屋久島)	北薩摩地域部会 進捗
第1回 地域部会の開催	8月24日 屋久島作業部会 オンライン開催 8月25日 種子島作業部会 オンライン開催	10月6日 オンライン開催
モデルルート素案の作成状況	種子島:素案1コースを作成済み 屋久島:素案1コースを作成済み	素案2コースを作成済み (甕島ルート、北薩ルートの2コース)
サイクリングマップ掲載情報の 実走検証用の取りまとめ	9月17日回答期限にて、各団体からの要望を 取りまとめ中（進行中）	10月下旬回答期限で取りまとめ予定 (計画中)
有識者とのモデルルート 実走検証	10月27日～30日（日程決定） 種子島、屋久島のモデルルート素案を実走検証 (計画中)	11月上旬～中旬 北薩摩地区のモデルルート素案を実走検証 (計画中)
第2回 地域部会の開催	11月中旬～下旬 開催予定 実走検証の結果の共有、協議 (計画中)	11月中旬～下旬 開催予定 実走検証の結果の共有、協議 (計画中)

[参考]今後の地域部会の進め方について

※第1回地域部会資料より抜粋

●モデルルートの設定とサイクリングマップの作成までのスケジュール ※現時点での予定

[本日：8月下旬～10月上旬] 第1回（オンライン）地域部会

- ①モデルルート素案の議論・確認 ②第2回地域部会までの作業確認 ③有識者を含む実走時の検証内容の確認
（施設情報等を含む）※事務局へ連絡票送付

[10月下旬～11月中旬] 有識者を含むサイクリストによるモデルルート素案の実走検証

- ①モデルルート素案を実走検証、有識者による修正、ルートの磨き上げ
②施設等情報の確認とアップデート

[11月中旬～11月下旬] 第2回 地域部会

- ①実走検証によるモデルルート改善案の確認（必要に応じ再実走）
②モデルルートとともにマップに掲載する施設等情報の確認

[11月中旬～1月中旬] サイクリングマップの作成

- ①第2回地域部会の修正後モデルルート案をマップとして作成
②モデルルートにあわせたマップに掲載する施設等情報のマップへの反映

[1月下旬] 第3回 地域部会

- ①モデルルート最終案の確認
②サイクリングマップ最終案のデータ確認（施設情報等）

★第3回地域部会にてモデルルートとサイクリングマップを最終化し、2月予定の第3回県サイクルツーリズム推進協議会にて報告。

●有識者を含むサイクリスト●

県下サイクリング事情を熟知し、さらに国内各地のサイクルツーリズムの知見を有する人材を登用。

[黒川 剛 氏]

[徳田 鍛造氏]



セグメント（全体でも最大8名以内）

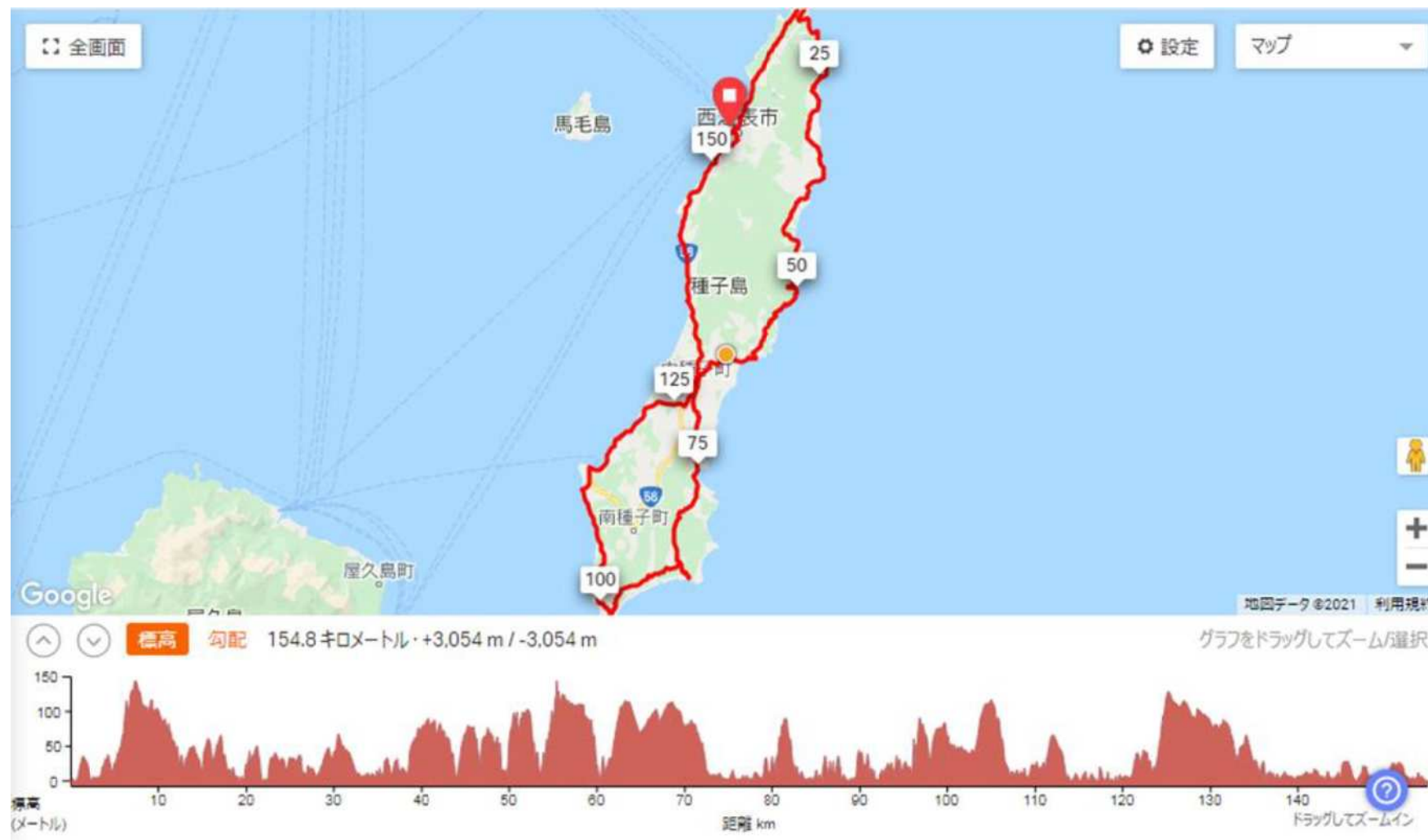
●地域のサイクリスト 2～4名

- 鹿屋体育大学 自転車競技部 学生
1～2名（実施時期により調整）

- Team ANA 自転車チームメンバー
1～2名

[参考] 種子島モデルルート (素案)

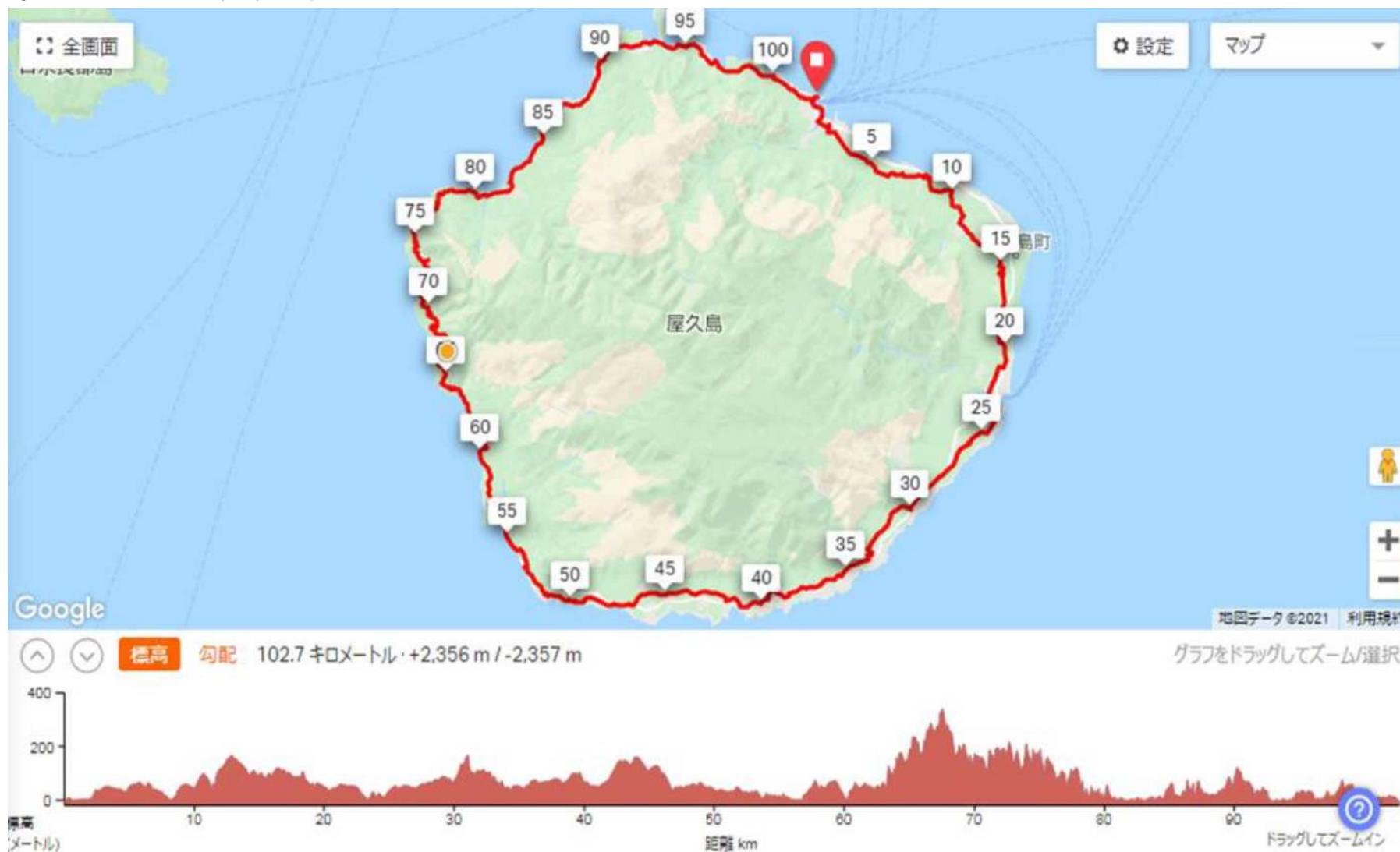
下記ルートで実走検証します。



https://ridewithgps.com/routes/36910151?privacy_code=OQnni7bWtQ3hQd4x

[参考] 屋久島モデルルート (素案)

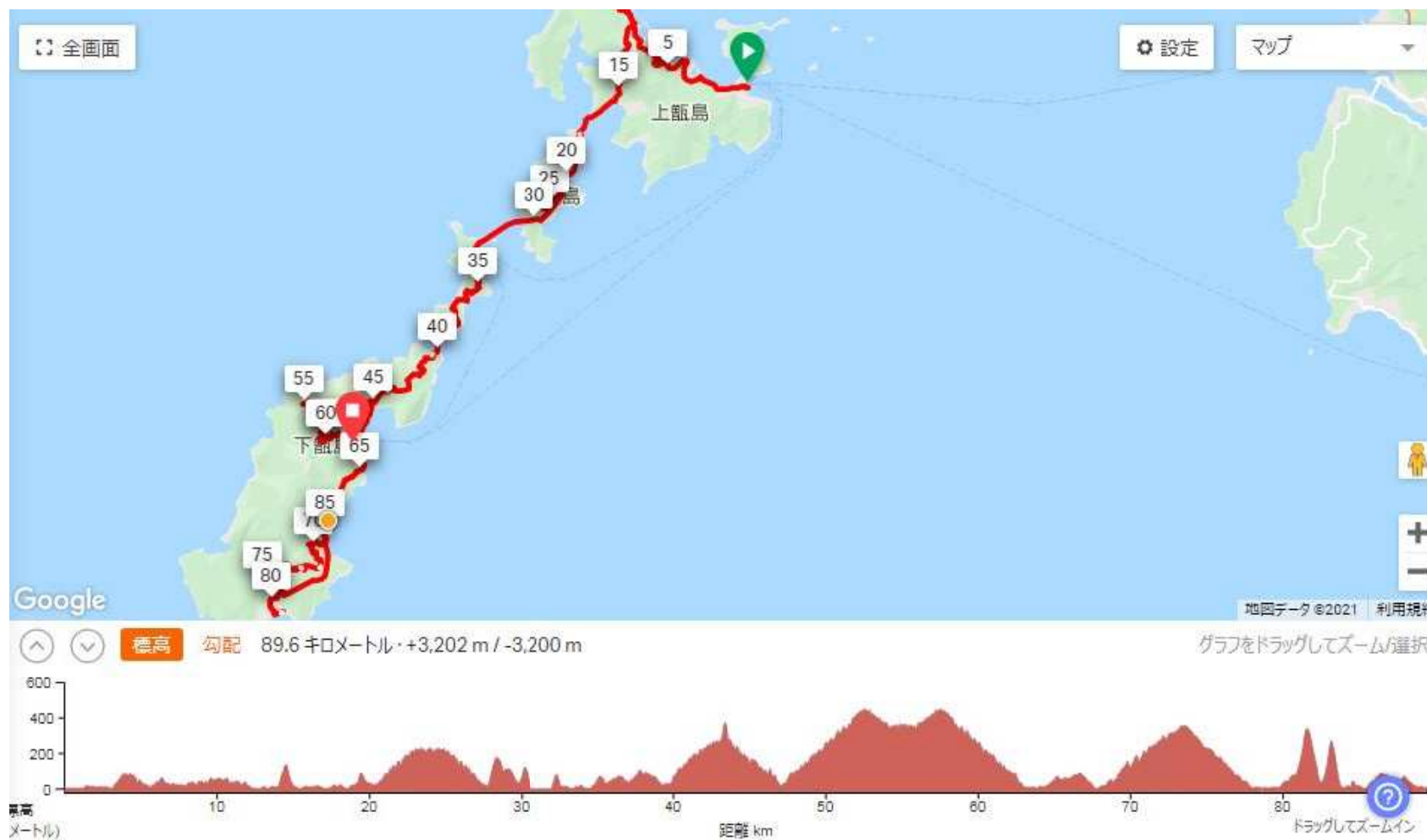
下記ルートで実走検証します。



https://ridewithgps.com/routes/36910083?privacy_code=15l1BXlbhepNiUGE

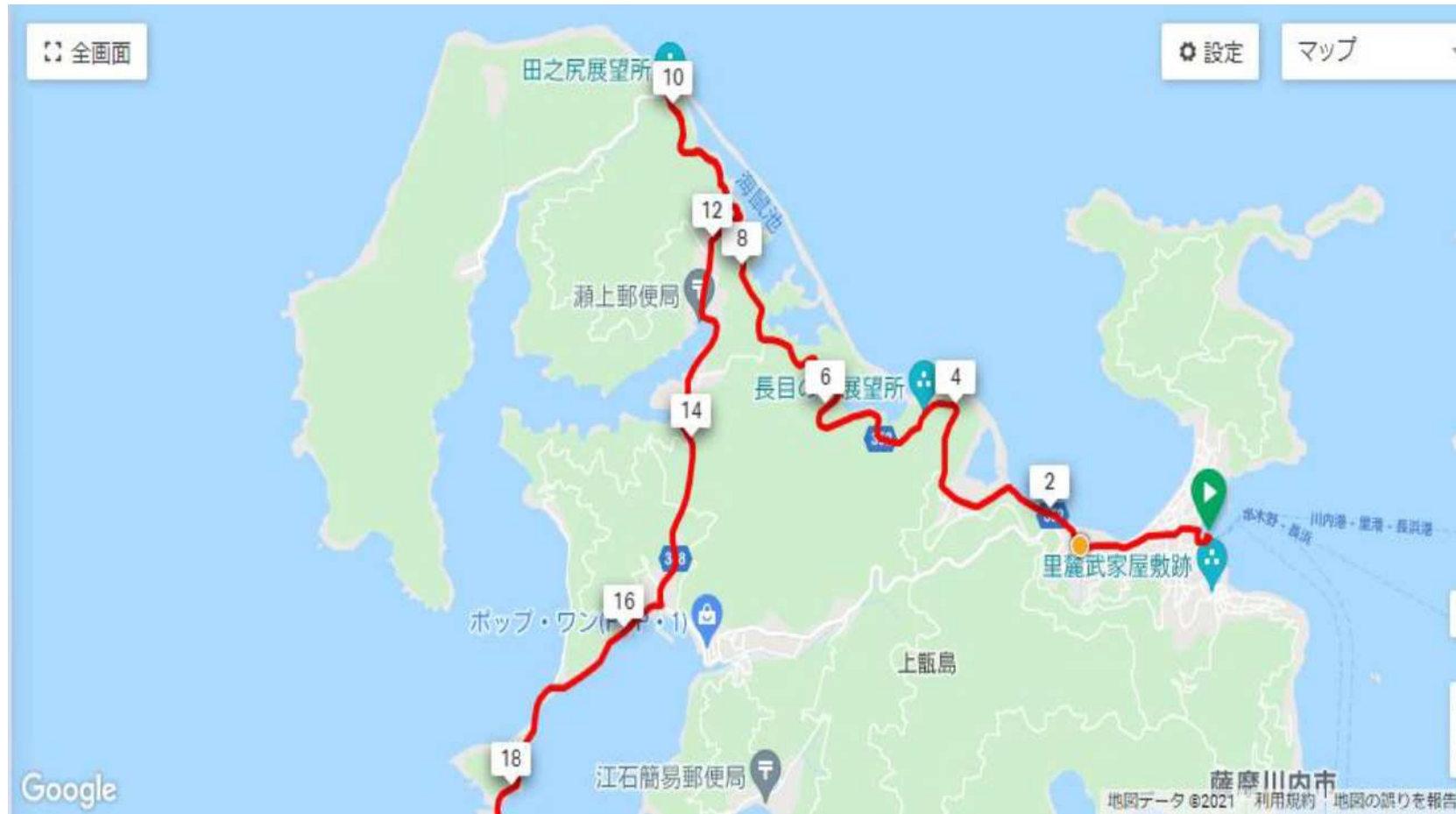
[参考] 甌島モデルルート (素案)

第 1 回地域部会で示したルートです。

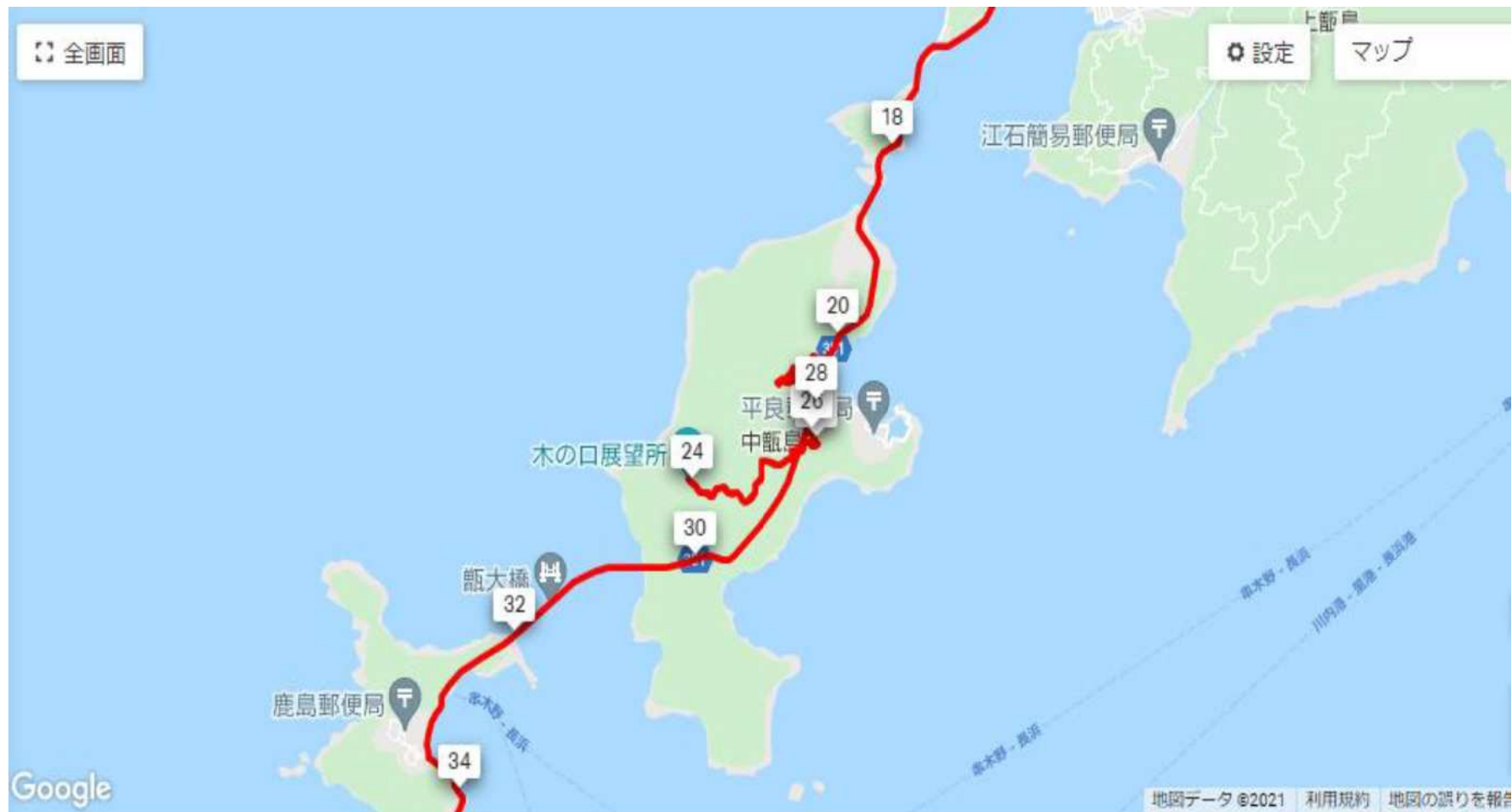


https://ridewithgps.com/routes/36910119?privacy_code=JlowE88Cws5UgfTt

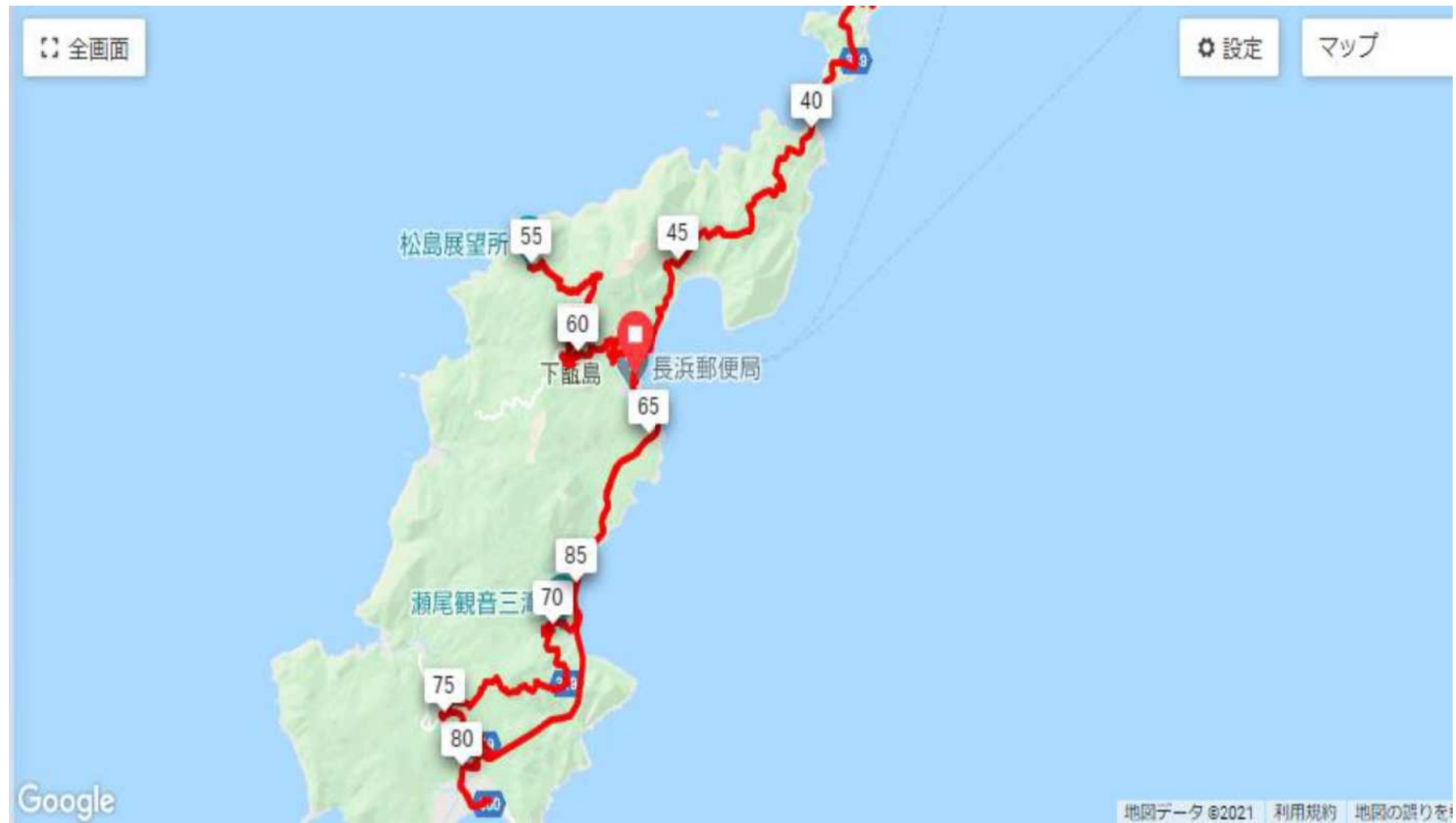
[参考] 甌島モデルルート (素案) 抜粋 上甌島



[参考] 甌島モデルルート (素案) 抜粋 中甌島

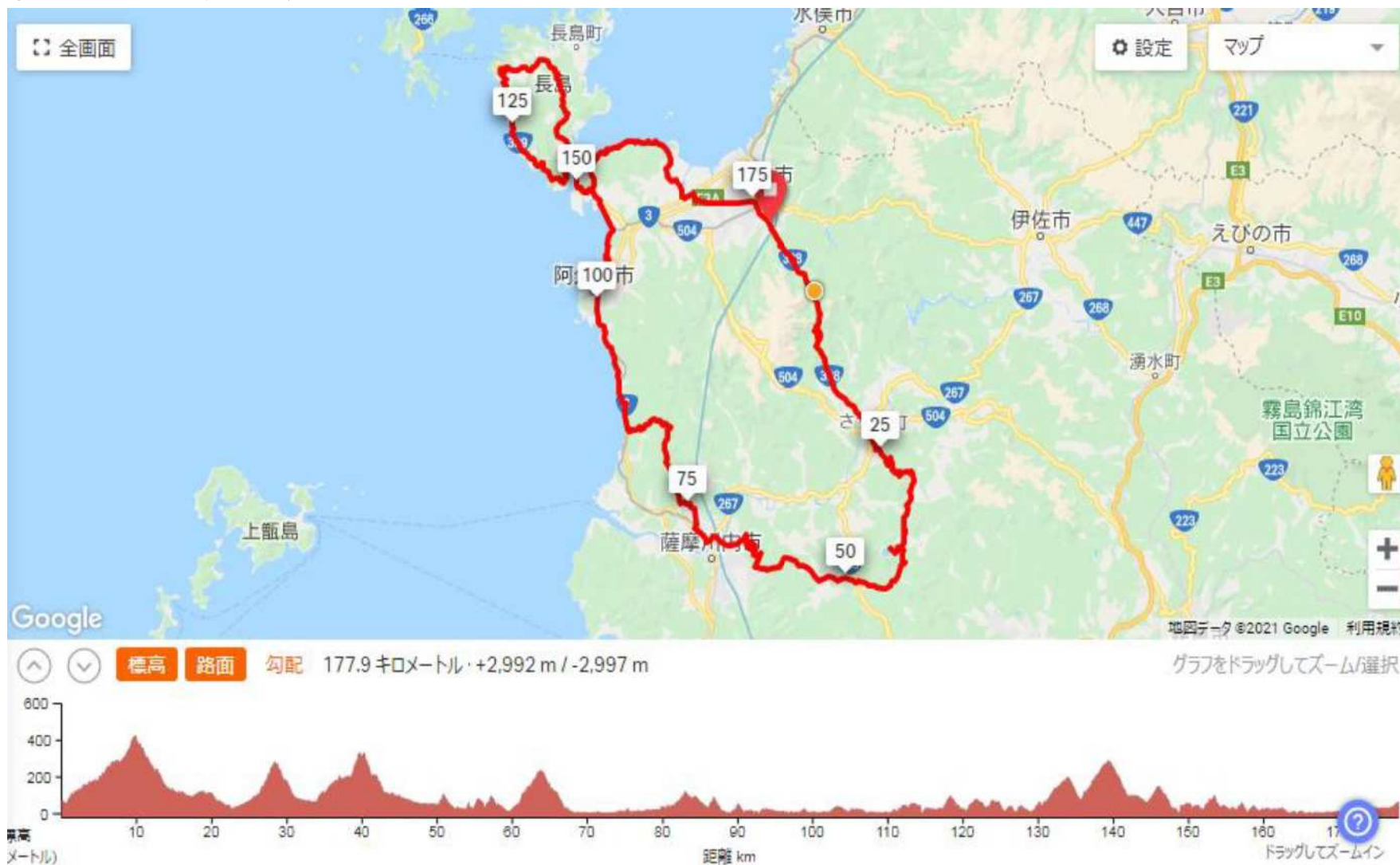


[参考] 甌島モデルルート (素案) 抜粋 下甌島



[参考] 北薩モデルルート (素案)

第 1 回地域部会で示したルートです。



https://ridewithgps.com/routes/36910464?privacy_code=&X7OKo5XaMfuDMzIz

令和3年 11 月 1 日

県サイクルツーリズム推進協議会加盟団体 各位

鹿児島県観光・文化スポーツ部観光課長

第2回鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会の書面開催結果について

本県の観光振興につきましては、かねてから格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、第2回県サイクルツーリズム推進協議会の書面開催につきまして、御提出いただいた書面表決書を集計しましたので、その結果について下記のとおり御報告いたします。なお、本協議会の運営等につきましては、(株)ANA総合研究所に委託しております。

記

県サイクルツーリズムロゴマーク二次審査結果については、「承認」。(賛成多数)

→ 最優秀作品(A案)について、デザイン制作者と協議のもと、事務局においてデザインデータの作成を進めます。

※ なお、ロゴマークについては、11月半ばを目処に発表することとしておりますので、取扱いについては、十分御留意いただきますようお願いいたします。(発表時期については、改めて御連絡いたします。)



【回答結果】

○承認する 75 団体

○意見を付して承認する 3団体

一般社団法人 奄美群島観光物産協会

鹿児島のシンボルとして桜島をデザインしており、わかりやすいロゴになっていると思うが、鹿児島にある離島もうまく取り上げてほしかった。

一般社団法人 あまみ大島観光物産連盟

GO はいいが、桜島が強調され過ぎて、離島のイメージが弱い。

北薩地域振興局

ロゴ色の自由な展開について、大事に検討されたい。

○未回答 13 団体

【問合せ先】

鹿児島県観光・文化スポーツ部観光課観光地づくり係 担当:鹿島
TEL:099-286-3005 Mail:kdukuri@pref.kagoshima.lg.jp

【受託事業者】

株式会社ANA総合研究所「元気な日本」創生事業部
地域創生チーム 担当:丸山
TEL:050-3755-0980 Mail:soukenjimu@ana-ri.co.jp